

標準委員会 システム安全専門部会
第3回シビアアクシデントマネジメント分科会(S2SC3)議事録

1. 日 時： 2012年2月23日(木) 13:30~16:30
2. 場 所： 日本原子力技術協会 A,B会議室
3. 出席委員：岡本主査(東大)、杉山副主査(JAEA)、河井幹事(原技協)、
井田委員(JANUS)、内田委員(JNES)、及川委員(東芝)、
織田委員(日立GE)、倉本委員(NEL)、黒岩委員(MHI)、
佐藤(柴本委員代理)(JAEA)、鈴木委員(原電)、竹越委員(関電)、
出町委員(東大)、古谷(西委員代理)(電中研)、日野委員(保安院)、
廣川委員(TEPSYS)、松本(和)(涌永委員代理)(中部電)、
守田委員(九州大)、増田委員(東電)
- 欠席委員：深沢委員(JNES)、阿部委員(東北大)
- 常時参加者：伊藤(原電)、大田(関電)、黒田(東芝)、佐藤(TEPSYS)、西川(関電)、
森本(NEL)、吉田(TEPSYS)、中野(MHI)
- 傍聴者：博田(THコンサルティング)、宮本(四電)

(敬称略)

4. 配布資料：

- S2SC3-1 第2回 議事録(案)
- S2SC3-2 人事について
- S2SC3-3-1 SAM標準の骨子(案)(改1)
- S2SC3-3-2 SAM標準の骨子(案)とIAEA NS-G-2.15の対比(改1)
- S2SC3-3-3 SAM実施基準作成のためのグループ分けについて(案)(改1)
- S2SC3-4-1 SAM実施基準(案)1章
- S2SC3-4-2 SAM実施基準(案)4章
- S2SC3-4-3 SAM実施基準(案)5章
- S2SC3-5 「全交流動力電源SBO時のアクシデントマネジメントの整備(仮称)」
(SBO民間基準)について」
- S2SC3-6 システム安全専門部会への進捗状況報告(案)
- S2SC3-7 シビアアクシデントマネジメント分科会のスケジュール(案)
- 参考-1 第2回 議事メモ(案)
- 参考-2 「発電用軽水型原子炉施設におけるシビアアクシデント対策規制の基本的考え方に係る意見聴取会」関連資料(2012.2.24)

5. 議事内容

議事に先立ち、河井幹事より、本分科会の定足数(14名以上)を満たすことが報告された。

① 第2回議事録(案)の確認(S2SC3-1)

河井幹事により、資料 S2SC3-1 に基づき、第2回分科会の内容について確認が行われた。確認の結果、特にコメントは無く、議事録は正式に承認された。

② 人事について(S2SC3-2)

河井幹事により、資料 S2SC3-2 に基づき、宮本氏(四電)の常時参加者登録の提案があり、出席委員の全員一致で承認された。

③ 「発電用軽水型原子炉施設におけるシビアアクシデント対策規制の基本的考え方に係る意見聴取会」の報告(参考-2)

日野委員より、資料 参考-2 に基づき、2/24 に実施された意見聴取会の概要について説明があった。検討会は年度内に3回実施。意見聴取会ではシビアアクシデント対策の基本的な考え方、規制の基本的な考え方について議論し、取りまとめていく予定。

④ SAM標準の骨子等の改訂について(S2SC3-3-1, S2SC3-3-2, S2SC3-3-3)

河井幹事より、資料 S2SC3-3-1, S2SC3-3-2, S2SC3-3-3 に基づき、SAM標準の骨子(案)(改1)について変更箇所に関する説明があった。主な変更内容は以下のとおり、

- ・ 4章は5章以降との文章整合を図り見直し
- ・ 各章の記載内容にあわせ、記載項目を移動
- ・ 表現の統一
- ・ 資料 S2SC3-3-2 において、12章、13章の新規追加
- ・ 資料 S2SC3-3-3 において、12-15章の担当を事務局から各 Gr. に割り振ることとした。

以下のコメントがあった。

- ・ SBO は用語の定義を明確にし、統一を図ること。

⑤ SAM実施基準(1~5章)の審議について

増田委員より、資料 S2SC3-4-1 に基づき、骨子(案)「1.適用範囲」の文案について説明があった。以下の方針で適用範囲をまとめていくこととした。

- ・ 適用範囲は、(1)既設(2)新設(3)その他の分類で明示する方向とする。
- ・ 文案1)の「事象の想定に際しては、・・・」以降の記載は別章で反映していくこととする。

以下のコメントがあった。

- ・ 骨子案の表現“原子炉施設”は、文案に合わせ“原子力施設”に見直すこととする。

鈴木委員より、資料 S2SC3-4-2 に基づき、骨子（案）「4. シビアアクシデントマネジメントの基本要件」の文案について説明があった。以下の方針で基本要件をまとめていくこととした。

- ・ 4、5 章は別途マージするかどうか、5 章の検討を見て決める。
- ・ 本日議論のあった用語の定義（アクシデントマネジメントなど）を A グループにて起案する。

廣川委員より、資料 S2SC3-4-3 に基づき、骨子（案）「5. シビアアクシデントマネジメントの基本方針」の文案について説明があった。

また、内田委員より、資料 S2SC3-4-3 参考-1 に基づき、シビアアクシデントマネジメントの基本方針（案）に関するコメントの説明があった。

以下の方針で基本方針をまとめていくこととした。

- ・ 実際に AM 策を構築し易いように、4 章以降の説明を PDCA の考え方をベースにまとめていく。
- ・ 4、5 章はまとめる方向で検討する。整理は、主査、副主査、事務局で行う。

以下のコメントがあった。

- ・ 誤操作・誤動作の影響に対する配慮、および、多数基立地の場合における考え方の整理も重要である。

⑥ SBO の記載方針について

岡本主査より、資料 S2SC3-5 に基づき、SBO 時のシビアアクシデントマネジメントの整備（SBO 民間基準）についての方針の説明があった。次回の打ち合わせで内容を議論していく。以下のコメントがあった。

- ・ 「6. 対策設備の有効性評価」は設備に限定せず、「対策の有効性評価」とした方がよい。
- ・ 附属書とするか、独立とするかは今後検討していく。

⑦ システム安全専門部会への進捗状況報告について

河井幹事より、資料 S2SC3-6 に基づき、システム安全専門部会への進捗状況報告としてシビアアクシデントマネジメント分科会での審議状況の説明資料（案）の説明があった。

以下のコメントがあった。

- ・ 「2. 第 2 回の審議状況」の 2 番目の項目は、記載する場合、文章が長いので、2

つに分けた方がよい。

⑧ その他

- ・ 次回分科会は、
 - 3、6、7、8章の議論（各グループで準備）
 - SB0 民間基準案全文の議論（事務局側で準備）
- ・ 次回分科会は3/14の午前、次々回分科会は4/17か18午後の方向で調整する。
（分科会後の調整で4/18午後となった。）

以 上